

「地図は、地上にあるものを記号で表している」ということを児童に説明したいのですが、何を切り口に、どのような手順ですすめればよいのでしょうか？

回答者 東京学芸大学名誉教授 次山 信男

### 3年生の学習で描いた絵図・絵地図を活用してみてもいいでしょう！

はじめて地図帳を手にした子どもたちに、「地図は、地上のものをすべて記号で表している」といって、地図にある記号を一つ一つ取り出して、文は学校、○は役場、卍は神社……と覚えさせていくようなことをすすめれば、子どもたちは「地図って、なんて面倒なんだろう」と思い、地図に背を向けてしまうのではないのでしょうか。

記号への導入にはいろいろな方法があると思いますが、ここでは、学習の連続性ということを考えて、一つの切り口とその手順を紹介してみたいと思います。

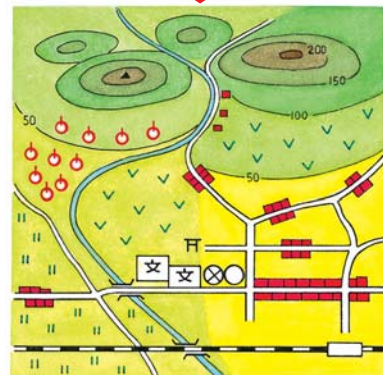
子どもたちは、3年生までに自分たちの町を中心にした身近な地域の学習で、見たり聞いたりしたことを絵図や絵地図に描いてきています。そこでの『図』や『地図』は、目や心に入る『ひろがり』ととらえているのです。つまり、それは町の絵を描くキャンパスなのです。これを、地図の記号に目を向ける入口にしてみたいのです。

まず、先生が、子どもたちが3年生の時に描いた絵図や絵地図を使って、それを地図化していく作業を見せるのです。模造紙に拡大した絵図・絵地図を見ながら、同じ『ひろがり』の模造紙に作業していくのです。（黒板に貼っても、床に広げてもよいでしょう。）

もちろん、先生がすべてすすめるのではなく、子どもたちの反応を見ながら、地図化する作業に参加させていきます。絵図や絵地図

の中にすでに記号化されたものがあれば、それを手がかりにすすめると子どもたちに寄り添いながらの作業になるでしょう。いかがでしょうか。

「学校や神社の記号は知っていたけど、役場や警察も記号があるんだね」  
「地図は、電車やバス……動くものはのせないんだ！」  
「道路や鉄道の線路も記号なんだ！」  
「山や川の色も記号だなんて、知らなかった！」  
「同じ記号が集まっていたり、一つしかなかったり……面白いね」  
「地図って、記号でできているんだね！」  
「行ったことのないところでも、その地図で記号を見ていけば、ようすがわかるんだ！」



- 文--- 学校
- 卍--- 神社
- 役場
- ⊗--- けいせつ
- )(--- 橋
- ||--- 道路
- ≡--- 鉄道
- 家
- 駅
- △--- 山の  
高さ
- △--- 果樹園
- ∨--- 畑
- ▭--- 田